

## 感染症発生動向調査事業に基づく病原体検索および分析に検体を提供された方へ

当所では、感染症発生動向調査事業に基づき、病原体の検索および分析を行っています。提供された検体の検査結果から得られた病原体情報は、感染症法の届出基準に基づき報告され、報告数は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページに公開され、広くご覧いただけます。

大阪府内（堺市および一部の中核市を除く）の医療機関で、感染症法に規定された、1類から5類に分類される疾患の疑いがあると診断された方の検体は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の検査が実施されています。

本事業でご提供いただきました検体やそれに付随の情報につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました検体や情報は匿名化处理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたくえで取り扱っています。

研究題目		発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-7）
1.	研究対象者	平成 15 年 4 月以降に当所に検体を搬入された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹、風疹、デング熱やリケッチア症など、発疹を伴う疾患に罹患した方の試料を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和 3 年 12 月 10 日～令和 6 年 3 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、髄液、臍帯、水疱拭い液 情報：性別、年齢、診断名、症状、ワクチン接種歴、発症日、試料採取日、血清抗体価、ウイルスゲノムコピー数 （患者が新生児の場合）：母親の年齢、ワクチン接種歴、妊娠経過
5.	外部への試料・情報の提供	共同研究機関へは、試料として血液、咽頭拭い液、尿、これらから抽出された RNA を提供し、情報として診断名、発症日を提供します。匿名化に関する対応表は、当所の匿名化处理担当者が保管・管理します。
6.	研究責任者	企画部精度管理室 主任研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 ウイルス第三部第二室 室長 森嘉生

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

企画部 精度管理室

電話番号：06-6972-1321 or

mail：kurata@iph.osaka.jp

## 大阪健康安全基盤研究所で実施する研究に、医療機関を通じて病原体などの試料を提供された方へ

当所では、病原体の流行状況や治療薬の有効性などを把握するための研究として、医療機関を通じた病原体の収集および分析を行っています。提供された試料の分析結果から得られた病原体情報は、学術誌や学会発表を通じて社会に還元することで共有され、感染症の様々な対策を開発・実行するために活用されます。

大阪府内および他地域の医療機関で、感染症疾患の疑いがあり、病原体の解析が必要と判断された方の試料は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の解析が実施されています。

本研究のためご提供いただきました試料やそれに付随の情報につきましては、研究終了後、別の研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました試料や情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目	発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-7）	
1.	研究対象者	平成 15 年 4 月以降に当所に検体を搬入された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹、風疹、デング熱やリケッチア症など、発疹を伴う疾患に罹患した方の試料を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和 3 年 12 月 10 日～令和 6 年 3 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、髄液、臍帯、水疱拭い液 情報：性別、年齢、診断名、症状、ワクチン接種歴、発症日、試料採取日、血清抗体価、ウイルスゲノムコピー数 (患者が新生児の場合)：母親の年齢、ワクチン接種歴、妊娠経過
5.	外部への試料・情報の提供	なし
6.	研究責任者	企画部精度管理室 主任研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 ウイルス第三部第二室 室長 森嘉生

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」  
大阪健康安全基盤研究所  
企画部 精度管理室  
電話番号：06-6972-1321 or  
mail：[kurata@iph.osaka.jp](mailto:kurata@iph.osaka.jp)

## 感染症流行予測調査における採血にご協力いただいた方へ

当所では、厚生労働省感染症流行予測調査事業に基づき、麻疹・日本脳炎・水痘・ヒトパピローマウイルス・B型肝炎の抗体価調査を実施しております。集計・解析された結果は、『感染症流行予測調査報告書』として厚生労働省から発行され、今後の予防接種計画の作成や感染症の流行を予測するための資料として利用されています。また、結果は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページ (<http://www.nih.go.jp/niid/ja/yosoku-index.html>) にも公開し、広くご覧いただけるようになっています。

本事業にご協力頂き、包括同意をいただいた方の血清につきましては、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました検体や情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-7）
1.	研究対象者	平成 15 年 4 月以降に当所に検体を搬入された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹、風疹、デング熱やリケッチア症など、発疹を伴う疾患に罹患した方の試料を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和 3 年 12 月 10 日～令和 6 年 3 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血清 情報：性別、年齢、ワクチン接種歴、血清抗体価
5.	外部への試料・情報の提供	なし
6.	研究責任者	企画部精度管理室 主任研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 ウイルス第三部第二室 室長 森嘉生

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

企画部 精度管理室

電話番号：06-6972-1321 or

mail：kurata@iph.osaka.jp

## 成人における麻疹集団発生機序の解明研究にご参加された方へ

当所では、2016 年に関西空港を中心に発生した麻疹の集団発生事例を受けて、患者の抗体保有状況や発症後の抗体誘導に関するデータを収集し、麻疹ワクチン誘導免疫が麻疹の感染防御に与える影響を科学的に検討するために、対象者に同意を得て回復期血清を用いた抗体検査を行いました。提供された試料の分析結果から得られた情報は、学術誌や学会発表を通じて社会に還元することで共有され、感染症の様々な対策を開発・実行するために活用されています。

上記研究のためご提供いただきました試料やそれに付随の情報につきまして、詳細な血清疫学、感染機序およびウイルス感染による誘導免疫の解明、迅速な検査法の開発・改良を目的とし、感染防御に必要な宿主要因を明らかにし、感染予防対策に役立てるため、利用させていただきます。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました試料や情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-7）
1.	研究対象者	平成 28 年に大阪府内で麻疹の集団感染を経験された方のうち、「成人における麻疹集団発生機序の解明」研究にご参加いただき、感染後 4 から 6 週間後に麻疹抗体価測定のために採血を行った方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹患者の回復期血清を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和 3 年 12 月 10 日～令和 6 年 3 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血清 情報：性別、年齢、発症日、試料採取日、血清抗体価
5.	外部への試料・情報の提供	なし
6.	研究責任者	企画部精度管理室 主任研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 ウイルス第三部第二室 室長 森嘉生

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」  
大阪健康安全基盤研究所  
企画部 精度管理室  
電話番号：06-6972-1321 or  
mail：[kurata@iph.osaka.jp](mailto:kurata@iph.osaka.jp)